

令和5年度 第2回

海老名市総合教育会議

令和5年8月26日（土）
県立中央農業高校 多目的室

第1部 協議事項

教育大綱の取組について

- 1 授業改善の実践
- 2 インクルーシブ教育の推進

第2部 協議事項

- 1 学校紹介・発表 中央農業高校
- 2 中央農業高校生徒と市長・教育委員との懇談

海老名市教育大綱

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

新たな学校の枠組みづくりの推進

- 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討
- 学校のDX化の促進
- 「幼保小の架け橋プログラム」の導入
- 新たな部活動の在り方の検討

協議事項 1
Pick up

教育施策の5つの柱

協議事項 2
Pick up

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- 特色ある学校づくりの推進

わたしたちは
「ひびきあう教育」
の理念のもとに

- 子どもたち
ひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の
「しあわせ」のために

包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

- インクルーシブ教育の推進
- 不登校支援体制の充実
- スクールライフサポートの充実
- ライフ・スタディサポートの推進

「誰ひとり取り残さない教育」

をめざします

子どもと大人がともに学ぶ機会の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 若者の活躍と市民活動への参加促進
- 社会教育計画の再構築
- 特色ある図書館運営の推進
- 文化財の保護と積極的な活用

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 積極的な学校再編計画の推進
- 健康・安全安心のための環境整備
- 魅力ある学校給食の実現
- 保護者負担経費軽減策の充実
- 放課後児童クラブの充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集

海老名市教育大綱

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

■ 「えびなっ子しあわせプラン」の推進

協議事項 1

① 授業改善の実践 …【教育支援課】

「主体的・対話的で深い学び」を追求するために、市内教員がその視点からの学習過程を見直し、小中接続の観点からも、ともに授業を工夫・改善していく取組を推進します。
また、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、1人1台端末の各教科等の指導における効果的な活用方法等について研究します。

■ 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

協議事項 2

① インクルーシブ教育の推進 …【教育支援課】

個別の教育支援計画の作成等を通じた教育的ニーズの適切な把握をもとに、すべての子どもたちひとりひとりの多様性に対応した、学びやすい環境、わかりやすい授業、安全で安心できる居場所を目指します。

協議事項 1

授業改善の実践

海老名市における授業改善の取組

えびなっ子しあわせプランの推進

「えびなっ子しあわせプラン」の歩み

第1期 (H26～29年度)

次の6点に取り組みました。

《身につける3つの力》

- ①学力の向上
- ②集団力の育成
- ③健康安全力の育成

《これからの学校の姿》

- ④教育課程の検討
- ⑤小中一貫教育の推進
- ⑥コミュニティ・スクールの導入

第2期 (H30～R2年度)

第1期の取組を継続しつつ、第2期では次の3つを重点に取り組みました。

①授業改善

- ・「授業改善実践推進委員会」での研究
- ・「よりよい授業づくり学校訪問【特別版】の実施

②新たな教育課程の編成

- ・「教育課程編成研究会」での研究

③小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進

- ・「新たな学校体制づくり推進委員会」での研究

第3期 (R3～5年度)

キーワードは『多様性』。
これまでの取組を継続しつつ、

①授業改善の実践

②教育支援体制の充実

③特色ある学校づくりの推進

を重点に取り組みます。

えびなっ子の今と将来
のしあわせのために、
継続してまいります。

海老名市における授業改善の取組

「授業改善の手引き」作成委員会



平成27年度作成



平成29年度作成

海老名市における授業改善の取組

授業改善実践推進委員会

海老名市授業改善実践推進委員会
海老名市の21世紀の教育理念 ひびきあう教育

海老名市教員がめざす授業

子どもの視点に立った授業

- 学習のめあてや課題を明確にする
- 子どもの学習意欲を引き出す工夫をする
- 子どもの学習状況を見取り適切な支援をする
- 子どもの思考を助けたり深めたりする発問や板書をする

他の教員と授業を見合おう
授業を語ろう

授業改善の取組

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した授業デザイン

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
- 目標や関心を定める - 共通しを待つ - 自分の考えを述べる - 知り深く知り続ける - 振り返って気づかされる	- 互いの考えを比較する - 多様な視点を収集する - 思考を表現に書き表える - 多様な手段で説明する - 互いの考え方を手取り分けとする - 共に考えを磨き上げる - 協働して課題解決する	- 思考して問いを深める - 知識・技能を習得する - 知識・技能を応用する - 自分の思いや考えと結び付ける - 知識が技能を強化化する - 自分の考えを形成する - 新たなものを磨き上げる

※「ヒトプログラム」は独立行政法人教育政策評価局より

海老名市授業改善実践推進委員会

「海老名市教員がめざす授業」授業実践事例

学校名	海老名市立門沢橋小学校	授業者	小林 麗史
学年	5年	教科	算数
		単元名	ならした大きさを考えよう

子どもの視点に立った授業

子どもの学習意欲を引き出す工夫をする

どんな授業場面？

【試合結果】

日付	試合	結果
9月20日	1試合目	4-0
	2試合目	0-0
10月3日	初戦	4-0
	準決勝	2-0
	決勝	2-1

この授業場面のポイントは？

学校の児童が所属しているサッカーチームのホームページから試合結果を紹介し、平均得点を求めさせた。ねらいに合わせた数値を提示する工夫をしていた。「全部足すと何点かな？」「これまでの問題と何が違うところはある？」「0のたまごってある？」「OmLのオンシジューズってある？」と児童の問題意識を高めた。どの児童も、「0の値があるときはどのように平均を求めればよいのだろう」と課題を把握することができていた。

導入

展開

結末

0の値を個数に含めて計算するかどうかAとBに絞って比較することで考えをもたせ、話し合させた。児童は、友達の見解に好奇心をもっている。前時で学んだことを根拠に「みかんの時は…」と自分の考えを伝える児童もいた。

値に0がある場合にも含めて計算する必要性、普通は小数で表せないものも平均を求めるときには小数で表すことがあることを実感させた。その後、どの児童も適用問題に意欲的に取り組んだ。

報告者：海老名市教育支援課 前田 潤子

海老名市における授業改善の取組

「よりよい授業づくりのための学校訪問(特別版)」の実施

1

授業改善に取り組んでいます

平成30年度より、重点施策として「授業改善」を掲げ
全教員で「よりよい授業づくり」に取り組んでいます。

学習指導要領で示されている、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行っています。

令和4年度は、元文部科学省視学委員を小学校3校、中学校1校に招き、授業改善にむけた実践的な取組を実施しています。

また、教科指導充実のための書籍を配備し、研究会を立ち上げ、教科領域ごとによりよい授業づくりのための研究を進めています。



海老名市における授業改善の取組

「よりよい授業づくり学校訪問」の実施

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通常版	8	11	9	8	6	5	7	6	6
特別版				3	4	2	3	4	4

通常版 のべ66校(1校あたり3～4回)

特別版 のべ20校(全小中学校で実施)

海老名市における授業改善の取組

令和5年度 授業改善実践推進委員会の取組

海老名市の教育の方向性

「誰ひとり取り残さない教育」をめざす

ねらい

「個別最適な学び」を全員に保証する
ための授業改善

本年度の重点

- ①「個別最適な学び」「協働的な学び」の研究
- ②小中一貫を踏まえた授業改善

インクルーシブ教育の推進

海老名市教育大綱

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

< 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進 >

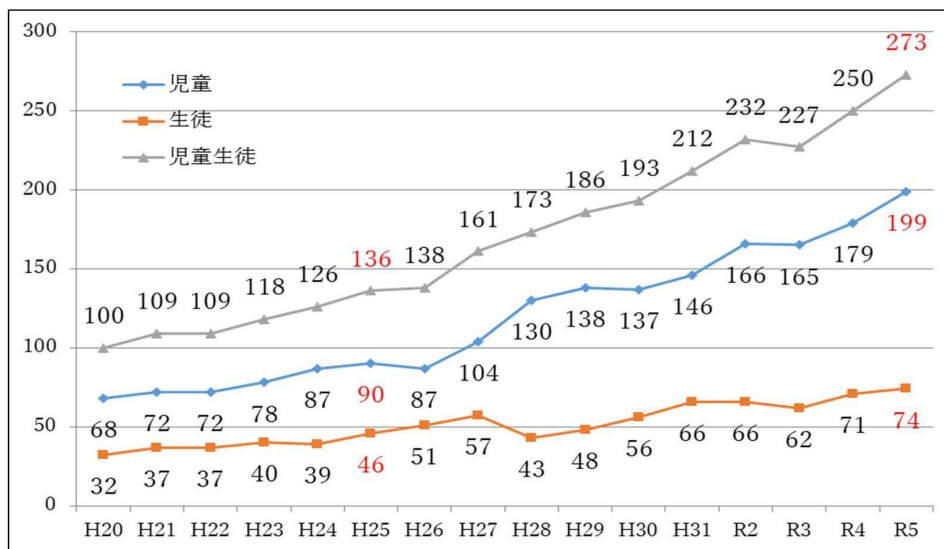


重点施策として

- ① えびなっこ支援シート
- ② インクルーシブルーム

...について説明します。

【海老名市】 支援教育の今(支援級児童生徒数)



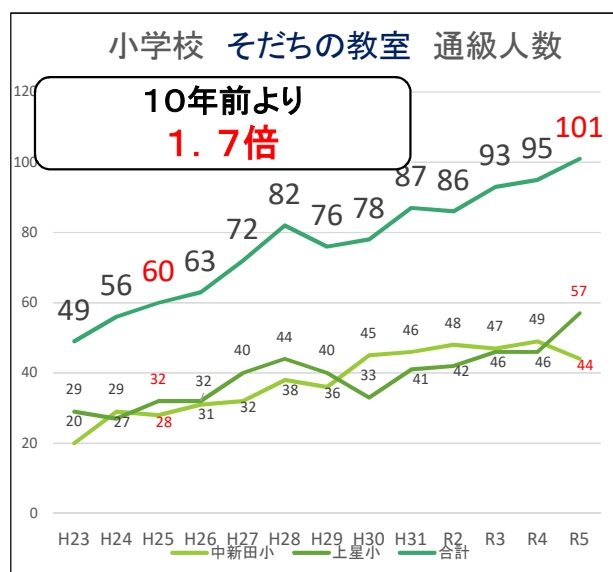
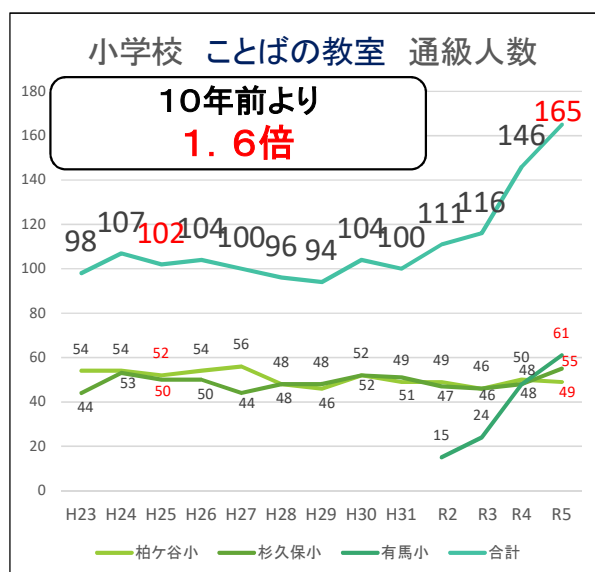
10年前より

小学校
2.2倍

中学校
1.6倍

小中計
2.0倍

【海老名市】 支援教育の今(通常級通級指導教室)

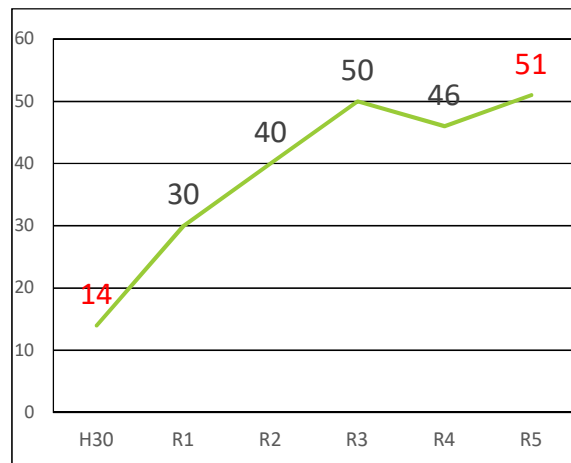


【海老名市】 支援教育の今(通常級通級指導教室)

中学校 **じりつの教室** 通級人数

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
海西中	14	30	40	50	22	28
大谷中					24	23
合計	14	30	40	50	46	51

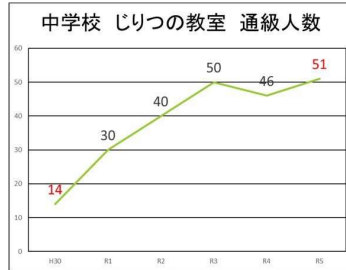
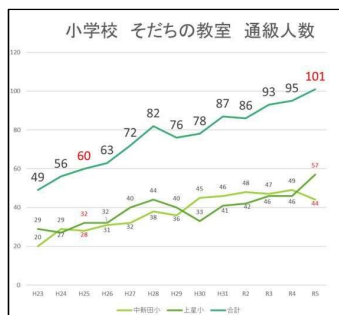
開設した5年前より
3.6倍



【海老名市】 支援教育の今

児童生徒の人数は
10年前よりほぼ横ばい
H25年度10,842名(4月小中計)
R 5年度10,467名(4月小中計)

その一方で
支援教育のニーズは
ここ10年で2倍以上
に増えている。



1. えびなっこ支援シートの活用について

令和5年度 試行実施

令和6年度 本格実施

発達 学習 性格
対人関係 障がい
言語 文化 経験
家庭環境 不登校等
支援を必要とする児童生徒に作成する。



【プロフィールシート】				【えびなっこ 支援シート】			
1. 本人に関する情報				海老名市			
①氏名	フリガナ	②性別	③生年月日	ふりがな	氏名	海老名市立	学校
④学びの場 (在籍年月日)				幼稚園等	園名:	()年()月()日～()年()月()日	
				小学校	学校名:	()年()月()日～()年()月()日	
				中学校	学校名:	()年()月()日～()年()月()日	
				高等学校	学校名:	()年()月()日～()年()月()日	
				段階	学校名:	()年()月()日～()年()月()日	
⑤本人の様子				学校・家庭での様子・実態 得意なこと好きなこと等 苦手なこと困っていること等			
2. 家庭に関する情報				障がい 本人 ニーズ 保護者			
①住所				〒			
②保護者				連絡先 電話番号 () ()			
③その他の情報				作成日 年 月 日 学校長 作成者 保護者			
				支援の目標 ○支援内容 ●合理的配慮			
				支援の評価と課題 年度 (相談日) 相談メンバー ()			
				年度 (相談日) 相談メンバー ()			
				年度 (相談日) 相談メンバー ()			

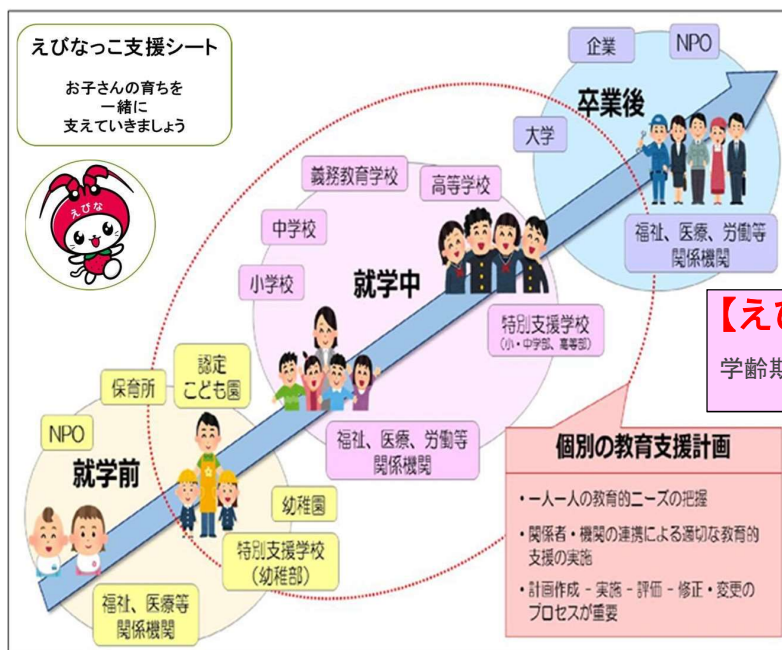
〇年〇組 学級

【えびなっこ支援シートの導入】

1人1人の個別の支援計画を保護者とともに、作成する。



【えびなっこ 支援シート】				海老名市			
ふりがな				氏名			
氏名				海老名市立			
学校				学校			
年度				年度			
年度				年度			
担任				担任			
学校・家庭での様子・実態				得意なこと好きなこと等			
				苦手なこと困っていること等			
障がい				本人			
ニーズ				保護者			
支援の目標				支援の目標			
○支援内容				○支援内容			
●合理的配慮				●合理的配慮			
作成日				年			
月				日			
学校長				作成者			
保護者				保護者			
支援の評価と課題				年度			
				(相談日)			
				相談メンバー			
年度				(相談日)			
相談メンバー				()			
年度				(相談日)			
相談メンバー				()			

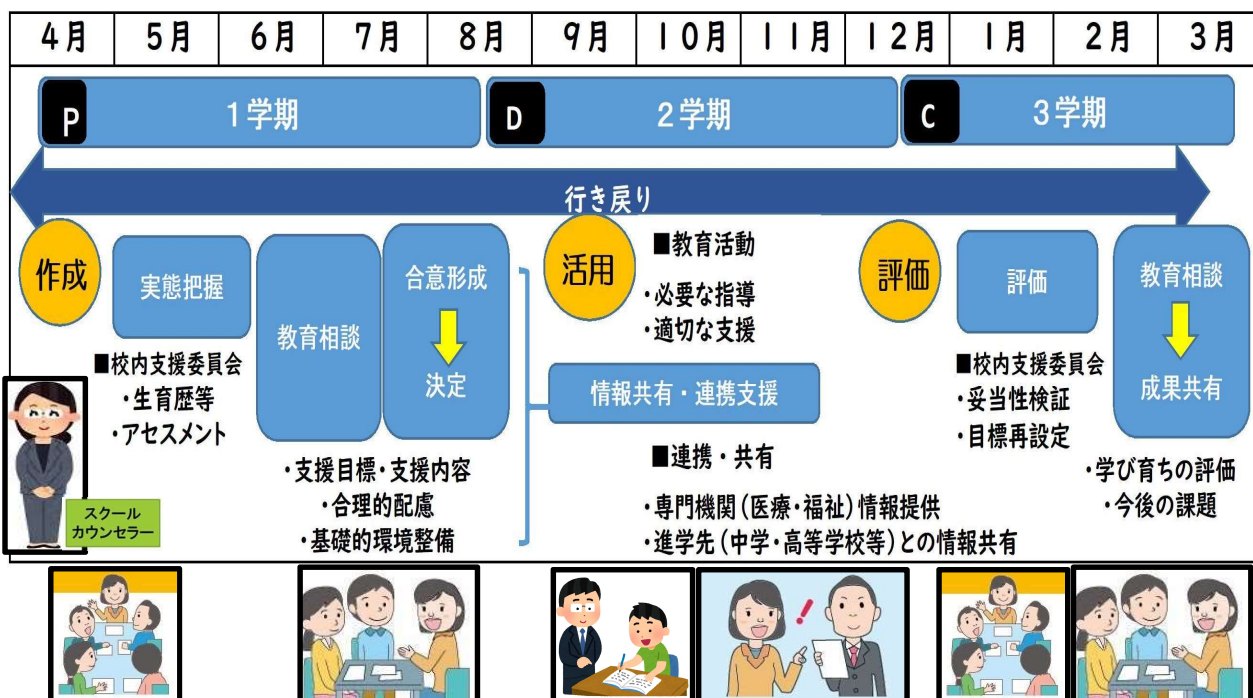


【えびなっこ 支援シート】				海老名市
ふりがな 氏名				海老名市立 学校
年度	年度	年度	年度	
年組				
担任				
学校・家庭での様子・実態	得意なこと 好きなこと 等			
	苦手なこと 困っていること 等			
画	い	本	人	

【えびなっこ支援シート】

学齢期における、切れ目のない教育支援の実施計画

○支援内容			
●合理的配慮			
作成日	年 月 日	学校長	
		作成者	
		保護者	
支援の 評価と 経過	年度	相談日	相談メンバー
	年度	相談日	相談メンバー
	年度	相談日	相談メンバー



【プロフィールシート】				海老名市
1. 本人に関する情報				
①氏名	フリガナ	②性別	③生年月日	
④学びの場 (在籍年月日)	幼稚園等	園名:	(○年○月○日～○年○月○日)	
	小学校	学校名:	(○年○月○日～○年○月○日)	
	中学校	学校名:	(○年○月○日～○年○月○日)	
	高等学校	学校名:	(○年○月○日～○年○月○日)	
⑤本人の様子				
2. 家庭に関する情報				
①住所	〒			
②保護者				
3. その他の情報				

プロフィールシート

- 本人に関すること
 - ・好きなこと、得意なこと
 - ・ともだちとの関係
 - ・困っていることなど
- 家族に関すること
 - ・連絡先など
- その他

えびなっこ支援シート

令和6年度より
活用開始します！



お子さんの成長の喜びを
学校・家庭・福祉で
共有していきましょう！

【えびなっこ 支援シート】				海老名市
ふりがな	氏名	海老名市立	学校	
年度	年度	年度	年度	
年度	年度	年度	年度	
担任				
学校・家庭での様子・実態	得意なこと好きなこと等			
学校・家庭での様子・実態	苦手なこと			
思い	ニーズ			
支援の目標				
○支援内容				
●合理的配慮				
作成日				
支援の経過と評価				

えびなっこ支援シート

※1枚を3年間使う

- 学校・家庭での様子
- 本人・家族の願い
- 今後の目標・支援内容
- 評価と課題
支援内容の見直し

2. インクルーシブルームの全小学校への設置

- ・令和5年度より全校へ
- ・別室の教室環境整備
- ・人員(支援員)の配置

・安定して教室で過ごすことが難しい児童の、別室通級教室として活用。

・不登校の未然防止。

・不登校からの学校復帰。



2. インクルーシブルームの 全小学校への設置

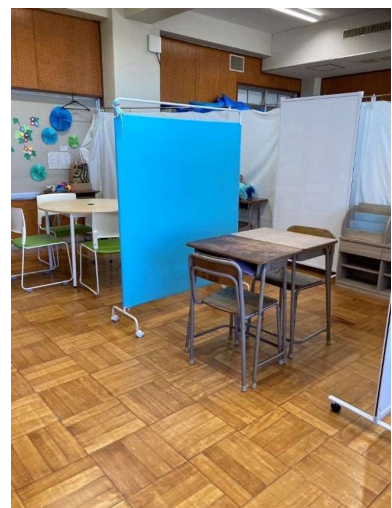
- ・令和5年度より全校へ
- ・別室の教室環境整備
- ・人員(支援員)の配置

教室環境整備にも
力を入れています。

研究指定校

有馬小学校

今泉小学校
東柏ヶ谷小学校



パーティションで部屋の中を区切り
みんなの場所／個人の居場所

2. インクルーシブルームの 全小学校への設置

- ・令和5年度より全校へ
- ・別室の教室環境整備
- ・人員(支援員)の配置

教室環境整備にも
力を入れています。

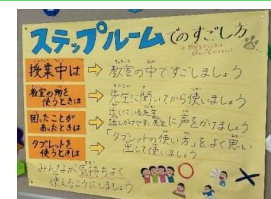
研究指定校

有馬小学校

今泉小学校
東柏ヶ谷小学校



パーティションで区切り
こちらは、ステップルーム



パーティションで区切り
こちらは、学習ルーム



2. インクルーシブルームの 全小学校への設置

- ・令和5年度より全校へ
- ・別室の教室環境整備
- ・人員(支援員)の配置

教室環境整備にも
力を入れています。

研究指定校

有馬小学校
今泉小学校

**東柏ヶ谷小学
校**

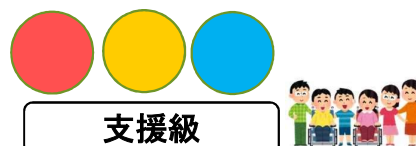


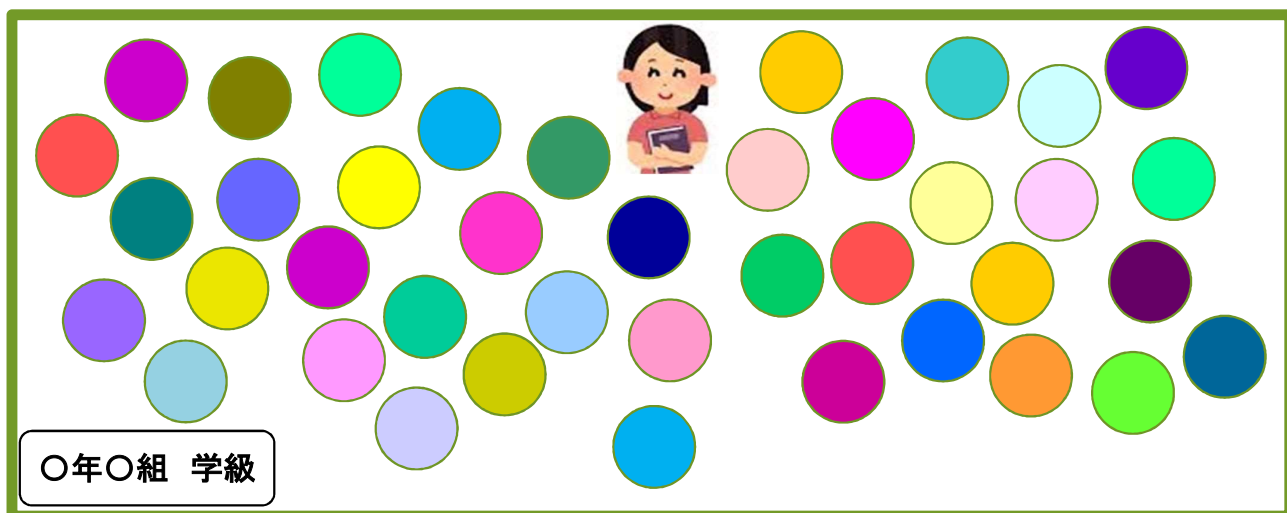
← 落ち着いて過ごせる工夫

↓ 個別の場所を
パーティションで



○年○組 学級





国際教室

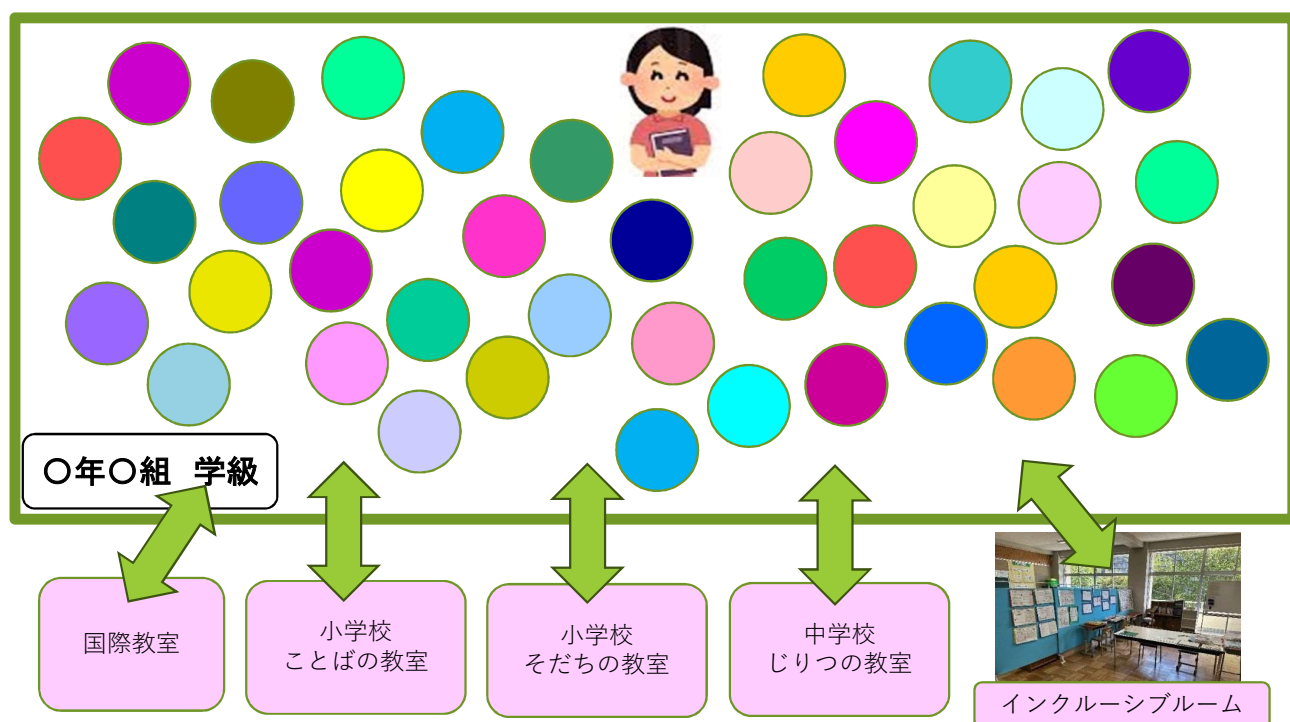
小学校
ことばの教室

小学校
そだちの教室

中学校
じりつの教室



インクルーシブルーム



『ともに学び』『ともに育つ』
『誰ひとり取り残さない教育』
を目指します。

